

令和 4 年 1 月 22 日 01 時 08 分頃の日向灘の地震について ～その後の活動～

地震発生から 1 週間程度、最大震度 5 強程度の地震に注意

○防災上の留意事項

1 月 22 日 01 時 08 分頃、日向灘を震源とする M (マグニチュード) 6.6 の地震が発生し、大分県、宮崎県で最大震度 5 強を観測した他、大阪管区気象台管内では高知県で最大震度 5 弱、愛媛県、広島県で最大震度 4 を観測しました。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意してください。

過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は 1 ～ 2 割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から 1 週間程度、最大震度 5 強程度の地震に注意してください。

今回の地震で揺れの大きかったところでは、地盤が緩んでいる可能性があり、少ない雨でも土砂災害が起こるおそれがあるため注意してください。

○地震活動の状況 (1 月 25 日 16 時 00 分現在)

震度 1 以上を観測した地震が 39 回 (震度 5 強 : 1 回、震度 3 : 5 回、震度 2 : 7 回、震度 1 : 26 回) 発生しています。大阪管区気象台管内では、高知県で震度 1 以上を 16 回 (震度 5 弱 : 1 回、震度 3 : 1 回、震度 2 : 3 回、震度 1 : 11 回)、愛媛県で震度 1 以上を 19 回 (震度 4 : 1 回、震度 2 : 3 回、震度 1 : 15 回) 観測しています。

○今回の地震周辺の地震活動の状況

地震活動は地震発生直後と比較して減衰してきています（図3）。

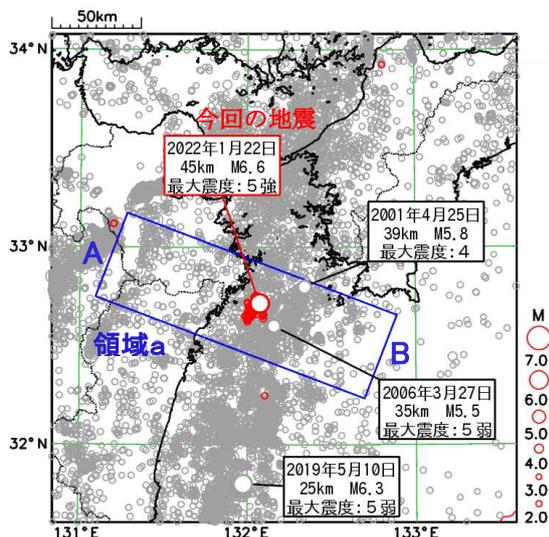


図1 震央分布図

(1977年10月1日～2022年1月24日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

※2022年1月22日以降の地震を赤く表示

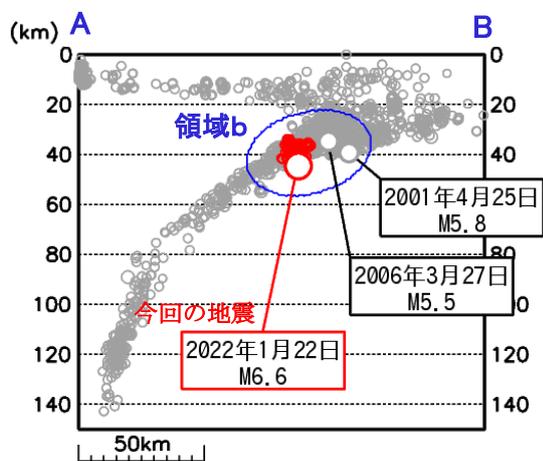


図2 図1の領域a内のA-B投影断面図

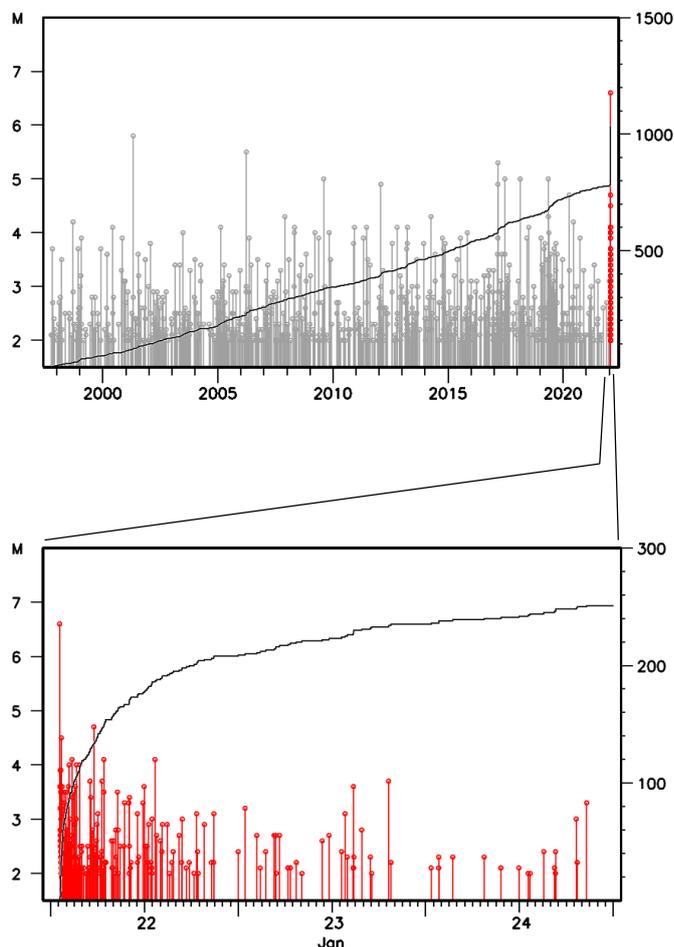


図3 図2の領域b内の規模別地震活動経過図
および回数積算図

(上図：1977年10月1日～2022年1月24日、
下図：2022年1月22日～1月24日)

※横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が
地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げ
たものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻と
マグニチュードの大きさを表す。

<資料利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。